

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2012-255664(P2012-255664A)
【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2012-055
【出願番号】特願2011-127569(P2011-127569)
【国際特許分類】

G 0 1 N 35/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月28日(2014.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫分析ユニットにおいて、免疫反応を用いて検体と第一の試薬を反応させる第一の反応工程と、

前記第一の工程を終了した反応液を前記免疫分析ユニットから遺伝子分析ユニットに自動的に搬送する搬送工程と、

前記遺伝子分析ユニットにおいて、遺伝子増幅を用いて反応液と第二の試薬を反応させる第二の反応工程と、

前記遺伝子分析ユニットにおいて、検体、第一の試薬および第二の試薬を含む反応液を測定する測定工程と、を有する自動分析方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の自動分析方法において、

前記第一の反応工程を実施した後に生成された反応液を前記免疫分析ユニットで測定する工程と、

前記搬送工程、前記第二の反応工程、および前記測定工程を実施するか否かを、前記免疫分析ユニットにおける測定結果に基づいて判断する判断工程と、を有することを特徴とする自動分析方法。

【請求項 3】

請求項 1 記載の自動分析方法において、

前記第一の反応工程は、免疫反応によって、測定対象成分と遺伝子標識を保持する抗体とから複合体を形成させる工程であり、

前記第二の反応工程は、反応液にプライマー核酸、核酸伸長酵素および基質を混合する工程であることを特徴とする自動分析方法。

【請求項 4】

免疫反応を利用した分析を実行する免疫分析ユニットと、

遺伝子増幅を利用した分析を実行する遺伝子分析ユニットと、

前記免疫分析ユニットおよび前記遺伝子分析ユニットを接続し、検体を少なくとも一つ搭載したラックを搬送する検体搬送ユニットと、を備え、

前記免疫分析ユニットは、検体に対して第一の試薬を分注して反応液を作成する第一の試薬分注機構を有し、

前記遺伝子分析ユニットは、

前記免疫分析ユニットで作成された反応液に第二の試薬を分注する第二の試薬分注機構と、

検体、第一の試薬および第二の試薬を含む反応液を測定する遺伝子測定機構と、を有し

、

前記免疫分析ユニットで作成された検体と第一の試薬を含む反応液を、自動的に前記遺伝子分析ユニットに搬送するように制御する前記制御ユニットと、を備えたことを特徴とする自動分析システム。

【請求項 5】

請求項 4 記載の自動分析システムにおいて、

前記免疫分析ユニットは、

検体搬送ユニットにより搬送された検体を吸引して反応容器に吐出する検体分注機構と

、

前記反応容器中の反応液から未反応の試薬成分を除去する洗浄機構と、

前記洗浄機構での洗浄が終了した反応液を前記検体搬送ユニット上のラックに移載する移載機構と、を有することを特徴とする自動分析システム。

【請求項 6】

請求項 4 記載の自動分析システムにおいて、

前記遺伝子分析ユニットは、

検体搬送ユニットを経由して搬送された検体を吸引して反応容器に吐出する検体分注機構と、

第二の試薬を分注して作成された反応液に対して所定の温度サイクルを実施する温度サイクル機構と、を有することを特徴とする自動分析システム。

【請求項 7】

請求項 5 記載の自動分析システムにおいて、

前記免疫分析ユニットは、第一の試薬を分注して作成された反応液を測定する免疫測定機構を有しており、

前記制御ユニットは、前記免疫測定機構での測定結果が所定の範囲外である場合に、前記移載機構により反応容器を前記検体搬送ユニット上のラックに移載し、当該ラックを前記遺伝子分析ユニットに搬送するように制御することを特徴とする自動分析システム。

【請求項 8】

請求項 4 記載の自動分析システムにおいて、

前記免疫分析ユニットは、第一の試薬を分注して作成された反応液を測定する免疫測定機構を有しており、

前記免疫分析ユニットでの測定が完了するまで検体を待機させる待機バッファを備え、

前記制御部は、前記免疫測定機構での測定結果が所定の範囲外である場合に、前記待機バッファ内に待機している検体を前記免疫分析ユニットに搬送し、第一の試薬を分注して反応液を作成したのちに、当該反応液を前記遺伝子分析ユニットに搬送するように制御することを特徴とする自動分析システム。